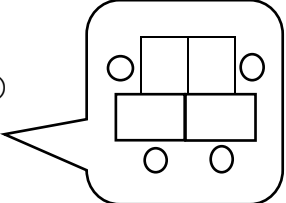


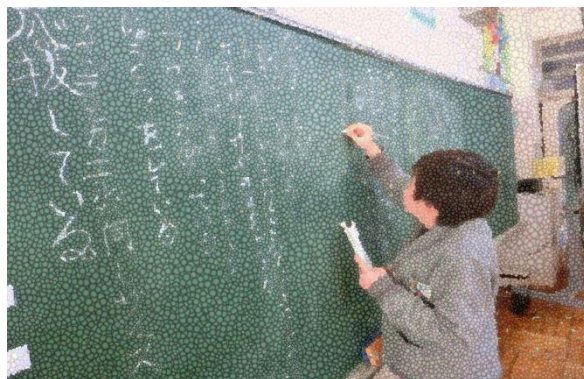
平成29年11月21日	授業者 富山 真理子	
小学6年	教科 国語	単元名 『鳥獣戯画』を読む 1/6
話し合い活動の意図と手立て	<p><話し合い活動の意図></p> <p>1枚の絵を見て読み取ったこと、感じたことをグループで自由に伝え合う。1枚の絵をみんなで分析することを通して、絵を「読む」とはどういうことかイメージをもたせるため。</p> <p><手立て></p> <p>子どもたちには「批評家になって、1枚の絵を分析しよう」と投げかけ、個人で絵を見る時間を十分に確保した。次の活動につながるように「出てくるもの（登場人物）」と「出来事」に分けて、話し合いをした。（班の中で疑問に思ったことは質問し合った。）最後に読み取ったことを黒板に書いたり、書画カメラを使い発表したりして共有した。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの形態… 全体（課題把握）→個人（思考） →4人グループ（話し合い） →黒板に記入⇒発表 	 <ul style="list-style-type: none"> 視覚化のための手段… 書画カメラ
成果	<ul style="list-style-type: none"> 一人では気付かなかったことが、グループで話し合うことで、いろいろな見方に触れることができている、話し合いが活発に行われていた。 グループで疑問に思ったことを質問したり答えたりしている姿が見られた。最後に全員で共有した時も、グループでのやりとりと同じような流れで、子どもたち同士でのやり取りが見られた。 	
	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中心になる児童、黒板に気付いたことを発表する児童がグループで同じになってしまった班がいくつかあったので、偏りがなく、なるべく一人一人が活動できるような工夫が必要である。 	

(写真・資料など) グループでの話し合い

① グループでの話し合い



話し合いの内容を自由に板書



⇒

② 全体で共有



質疑応答



⇒